

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3910116395
法人名	医療法人 仁栄会
事業所名	グループホーム やすらぎ
訪問調査日	平成21年3月24日
評価確定日	平成21年5月22日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3910116395		
法人名	医療法人 仁栄会		
事業所名	グループホーム やすらぎ		
所在地 (電話番号)	高知市塩田町19-26 (電話)088-875-3500		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年5月22日

## 【情報提供票より】(平成21年3月1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成12年11月27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17人
職員数	15人	常勤13人, 非常勤2人, 常勤換算	10人

## (2)建物概要

建物形態	併設/単独		新築/改築
建物構造	造り		
	5階建ての	2階～	階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~35,000円	その他の経費(月額)	10,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	0円
	または1日当たり		1000円	

## (4)利用者の概要( 3月 1日現在)

利用者人数	17名	男性	6名	女性	11名	
要介護1	3名	要介護2	3名			
要介護3	5名	要介護4	4名			
要介護5	2名	要支援2	0名			
年齢	平均	86.1歳	最低	64歳	最高	99歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	島津病院、おかだ歯科
---------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

5階建て高齢者住宅の2階部分をコンパクトに改修したもので、高齢者住宅と共同利用となっている浴室はゆったりと温泉気分を味わいながら入浴でき、夜間入浴も可能となっている。利用者の中で小遣いを自己管理している方がおり、職員の見守りの中で自由にお金を使うことができることは、日々の暮らし中でも喜びとなり、素晴らしいことである。重度化等への対応も母体法人の医療機関と連携が取れており、最期まで、このグループホームでの生活を望んでいる利用者が多く、信頼し安心して利用できるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目②	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)	地域との関係づくりや運営推進会議の在り方、本人本位の支援(馴染みの関係、共同生活、プラン、個人情報、日常生活)など、前回の改善点11項目については、改善計画を立て取り組んでおり、努力された結果が見受けられた。今後も一層の向上が期待される。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	評価制度の意義や前回の評価結果を職員に周知するとともに、職員が個々に自己評価を行いユニット会で話し合い、出来ることから改善に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)	会議は2カ月に1回定期的に行っている。地域からの参加をいただくため、10月から会議の時間帯を昼間に見直し、町会長、民生委員2名に委員になってもらい、地域との関わりについて双方向的な意見交換ができるように配慮している。今後、改善計画の報告だけでなく、取り組みの内容や過程等も報告し、サービスの質の向上に繋げていこう期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	これまでの「苦情記録」を「相談・意見・要望・苦情対応」に様式を変更し、利用者等の意見についても、ユニット会やカンファレンスで検討し、運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	地域活動として毎月職員が粗大ごみ収集の当番をしている。利用者は、老人会活動に参加したり、地域の方も交えて、ボランティアによる昔話を聞いたり、歌を合唱するなど交流している。高齢者住宅の方に加え、民生委員や近隣の会社の参加による避難訓練を予定しているが、引き続き地域住民の協力、参加について働きかけていくことを期待したい。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  「事業所を住み慣れた地域への架け橋としていく」独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  毎日、職員全員で理念を唱和しているほか、カンファレンスやユニット会でも話し合い、再確認をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  利用者に寄り添ったサービスの提供について職員同士が注意しあい、日々の支援に理念が反映されるように取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。  平成21年1月に町会に加入し、町会長、民生委員と地域との関わりについて協議している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  地域活動として毎月職員が粗大ごみ収集の当番をしている。利用者は、老人会活動に参加したり、地域の方も交えて、ボランティアによる昔話を聞いたり、歌を合唱するなど交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  管理者から、評価制度の意義や前回の評価結果を職員に周知するとともに、職員が個々に自己評価を行いユニット会で話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。  ユニット会で改善計画や取り組みについて話し合い、出来ることから改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  地域の代表として町会長、民生委員2名が加わり、双方向的な会議となっている。  <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。  改善計画の立案のみの報告となっている。	○	課題の改善計画の内容だけでなく、改善の取り組みや過程等も報告し、参加メンバーからの意見も参考にして、取組まれることを期待したい。
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  高知市介護保険課に、事業所の実情を折に触れ報告する中で指導を受け交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>週又は月1回、家族が来訪する時には利用者の近況を報告し、家族からも状況を聞いている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>月1回のやすらぎ便りに事業所での暮らしぶりを記載し、写真を添えて送付している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>心身に変化や問題があった場合は、電話などで必ず伝えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>家族の来訪時に金銭出納帳に確認印またはサインをもらっている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族会はないが、行事の時など家族同士が集まる機会があり、意見を出してもらおうよう声掛けをしている。なお、家族会の組織化についての働きかけを期待したい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>これまでの『苦情記録』を『相談・意見・要望・苦情対応』に様式を変更し、利用者等の意見についても、ユニット会やカンファレンスで検討し、運営に反映させている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>退職者の出ない職場作りに配慮しており、馴染みの職員が支援していく体制が出来ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>引継ぎ期間を2カ月取り、スムーズな移行に配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>雇用形態に関わらず業務として研修に参加している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修後の報告書をユニット会で説明し、全職員が共有している。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>宅老所・グループホーム連絡会に加入して情報を収集している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>同業者との学習会や交流もあり、サービスの質向上につながる仲間作りができています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居時に利用者の状況等を把握するとともに、家族の意向も確認し、担当者会で共有している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族の希望により、見学、体験に応じている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者と職員で行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>日々の生活場面のなかでゆっくり話す機会を多く持ち、和やかな生活ができるように取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の行動や表情から思いを察知し、常に心から寄り添った支援をしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>一人ひとりの声に耳を傾け、利用者の思いや暮らし方の意向等の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>利用者の仕草や口調などからゆっくり時間をかけて意向等の把握に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>日頃の関わりの中で本人や家族からの要望や思いを聞き、ユニット会で話し合い介護計画に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>全職員で定期的にモニタリングやカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>短期3カ月、長期6カ月の期間を設定し見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>本人、家族の要望や状況の変化に応じて個別の期間設定をしている。退院時は、主治医、家族も交えた担当者会で、現状に即した介護計画を作成している。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>母体法人の医療機関と連携し、毎週1回看護師の訪問を受け、健康管理や医療面での相談、助言など早めの対応ができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>協力医療機関の通院は職員が送迎し、専門医の受診は家族が対応するなど柔軟に支援している。外出、外泊も本人の要望に応じている。</p>		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>母体法人の医療機関のかかりつけ医のほか、本人、家族の希望する医療機関で受診している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果は介護記録に記載し、職員間で情報の共有をしている。また、状況に応じて家族に連絡している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期の対応指針を作成しており、入居時に説明し同意を得ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>現在、看取りの事例はないが、母体法人の医療機関との連携体制が確立しており、ホームでも看取り介護の体制は出来ている。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。</p> <p>プライバシーに関することについてお互い注意しあい、また、職員会等で周知徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。  利用者がどのように過ごしたいか把握し、外出については希望に沿って、銀行、本屋、買い物等の支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。  業務先行にならないように業務を見直すなど、利用者の生活ペースに合わせている。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  食事の下準備や片付けは、利用者と職員と一緒にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事が出来るよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  基本的な入浴時間はあるが、朝から晩まで利用者の希望に合わせた入浴支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。  拒む人には時間をおいて適切に声かけするなど、工夫をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  ユニット会で場面作りを検討をし、利用者に合わせた役割、楽しみを見つけ、経験を発揮できる環境作りをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  男性の利用者はプランターで苺栽培をしたり、女性の利用者は洗濯、洗濯物たたみ、お茶の葉の袋づめなど、一人ひとりに応じた働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  酒屋、本屋など馴染みの店や交通公園、堤防周辺の散歩に出かけている。  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  本人に合わせた移動の介助に配慮しながら支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  日中は玄関に鍵をかけずに自由な生活が出来るよう支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。  利用者の外出傾向を把握し、外出した場合は後を付いていくなど、安全面に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。  駐在所、母体法人の医療機関、近隣住宅など連絡してもらえる関係を築いている。		
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。  避難訓練は年2回定期的実施している。3月26日に消防署、民生委員、高齢者住宅の方、近隣の会社の方の参加を予定している。  <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食料・備品を準備している。  課題であった非常時用の食料、水分、備品の準備もできている。	○	避難訓練の実施に当たって、地域に働きかけ民生委員、近隣の会社からの参加が予定されている。今後も地域住民の参加、協力を得た取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事・水分摂取量を毎日チェック表に記入し、把握している。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 栄養士が献立を作成し嗜好の把握や栄養バランスに配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 栄養士や医師を交えて話し合い、専門的な観点からチェックができています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 食堂兼リビングに椅子やテーブル、テレビ、本等が配置されて和やかな共用空間になっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 好みの写真とかパッチワークの作品がさりげなく飾り付けられ家庭的な雰囲気になっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。  ベランダのプランターには草花を植え配慮しているが、共用空間に季節感のある装飾があまり見当たらないため、生け花や季節感のある装飾など、工夫されることが期待される。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 使い慣れたタンスやテレビ、家族の写真、折り紙の作品等を置き、利用者一人ひとりが安心して過ごせる工夫をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。  職員が本人の好みや意向を把握して、居心地よく過ごせるよう配慮している。		